

第3回PI評価委員会での主な助言と対応

分類	委員会での主な助言	対応
報告書の表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピカソ的要素が強く、那覇空港をイメージしにくい。前回のデザインを踏襲してはどうか（崎山委員、上間委員） ・ あまり継続性を気にせず、その時々で、関心を寄せる人に、手に取ってもらえるようなデザインがよい（大城委員） ・ 主な内容が分かるように、サブタイトルを入れたほうが良い（上間委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インパクトを重視し、原案通りのデザインとした。 ・ 「将来の航空需要予測」「空港能力の見極め」をサブタイトルとして入れた。
報告書の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節・章を系統立てた形で整理する必要がある。また、章タイトルは始まりと続きが分かるよう工夫が必要（堤委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節・章立てやタイトルを見直し、体裁を整えた。
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート大問4の問い方がわかりにくい。回答する立場にたって、わかりやすく工夫すること（上間委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大問4、大問5（自由意見）を集約し、意見を誘発するような設問に変更した。
自衛隊の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自衛隊との共用は空港能力に大きく関係してくる。共用を前提とするならば、そのことを明確に書き記すべき（大城委員） ・ 自衛隊の利用は現状維持であることを、需要予測の前提条件として示すべき（上間委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要予測の前提条件として明示した。
回答率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ PIステップ1におけるアンケート回答率は5%と少し低い。できるだけ回答率をあげる努力をしてもらいたい（上間委員） ・ アンケート数の目標値を設定したほうがよい（崎山委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステップ1の回答数（約1,000通）を目標値とし、それを超えるよう努力した。

分類	委員会での主な助言	対応
P I手法の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンや携帯電話を活用して、情報提供や意見を出せるような工夫をしてはどうか（上間委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンでは、ステップ1と同様に、ホームページによる情報提供を行うとともに、Eメールでの意見提出や、ホームページから直接回答できるような環境を整えた。 ・ 情報量が多いことから、携帯サイトでの情報提供は見送ったが、ステップ1と同様、携帯メールでの意見提出を受け付けた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記者を対象とした説明会を開催し、ニュースや記事で取り上げてもらうことを検討してはどうか（崎山委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例記者懇談会を活用するとともに、県政記者クラブ（23社）へのニュースリリースを行った。